

平成29年8月25日

長野県知事 阿部 守一様

岡谷技術専門校のさらなる充実、発展に関する要望

岡谷商工会議所 会頭 林 新一郎

諏訪商工会議所 会頭 岩波 寿亮

下諏訪商工会議所 会頭 小林 秀年

茅野商工会議所 会頭 宮坂 孝雄

富士見町商工会 会長 名取 元秀

原村商工会 会長 小平 恒夫

岡谷技術専門校のさらなる充実、発展に関する要望

平素より商工会議所、商工会活動にご理解とご協力を賜り深く感謝申し上げます。

最近の世界経済の動きをみますと、昨年半ば以降、着実な改善を続けており、ここにきて成長の勢いが一段と強まっているように窺われます。特に、製造業や貿易面の改善が明確になっています。こうした世界経済の好転の流れを受けて、わが国の景気の足取りも、よりしっかりとしたものになってきています。

しかし地方の中小企業や小規模事業者を取り巻く環境は、業種間、企業間格差の拡大、また人口減による市場縮小や事業承継問題などの課題も抱え、先行き不透明な状況が続いています。

そして目下、中小企業の最大の経営課題は人手不足であるといえます。労働力の減少という構造的な課題を抱える中、人手不足はかつてないほど深刻化しており、事業活動の維持が困難な企業も出始めていると懸念されています。

今後の経済規模の縮小を防ぐためには、「多様な人材の育成・確保及び活躍推進」と「生産性向上」の両方に同時に取り組むほかはありません。

現在、諏訪圏域の6市町村の行政や商工会議所、商工会では、官民一体となって、こうした課題に取り組みながら更なる産業振興、地域振興を図っているところです。

岡谷技術専門校は、地元の産業界のニーズに応じて、昭和13年10月に長野県機械工訓育所の名称で、県下初の技能養成所として現在地で開校したことに端を発します。以来、多くの優秀な修了生を輩出し、皆、有能な技術者・技能者として諏訪地域の企業はもとより県内各地の企業で活躍されています。

また、民間活用委託訓練やスキルアップ講座など地域ニーズに応じた職業訓練を実施されているほか、産業界と行政が協力して開催している工業展やフェアにも積極的に参加いただき、同校の技術・技能教育の成果を広く周知せしめて、地域や企業の期待に応えて頂いております。

未来を見据えて、地域や企業を元気にしていく人材の確保は、当諏訪地域にとっての生命線であり、そのために岡谷技術専門校の果たす使命は大きく、同校のさらなる充実、発展のために一層の支援を賜りたく、以下について要望させていただきます。

1. 岡谷技術専門校の普通課程の継続実施について

第10次長野県職業能力開発計画では、現在実施している訓練コースについて定員充足率や就職率、地域の産業界のニーズ等を勘案しながら訓練内容や訓練科の見直しを検討するとあります。

岡谷技術専門校では、新規学卒者や離転職者を対象とした普通課程や短期課程、離転職者を対象とした民間活用委託訓練、在職者を対象としたスキルアップ講座を実施して頂いております。

人材育成は、長期的展望のなかで取り組むべき性質の施策であります。定員充足率や就職率は、その時々を経済情勢等に大きく影響を受けます。現在、普通課程の定員充足率は、定員レベルまでは達していないものの、技術専門校はこの地域にとってなくてはならない人材育成の場です。

また、子供の貧困対策の観点からも、自宅から通学できて授業料も安価である技術専門校の存在は、親の経済的負担を軽減し、学ぶ場の選択肢を広げる大きな意義があります。

今後も地元産業界のニーズ等を反映した訓練内容に柔軟な対応をして頂きながら、普通課程の継続実施を要望いたします。

2. 訓練科目の内容の見直しと技術専門校の認知度向上の取り組みについて

今春発表された「平成28年度包括外部監査の結果報告書」の中で、技術専門校の将来の方向性が示されております。

これによると「これまで各技術専門校がそれぞれの地域で果たしてきた役割を尊重しつつも、別々の技術専門校で行われていた訓練科目を統合・再編することも検討すべきと思われる。」「この方向性は現在6か所存在する技術専門校の将来的な統廃合の検討にも繋がる。」とあります。

6月の県会一般質問において、技術専門校の見直しについて、県のご答弁は「統廃合ありきの検討ではない。」とのことでした。

現在、県が積極的に推進されている航空宇宙産業分野や医療介護分野などのほか、新規成長産業分野への企業参入を支援するために、最先端の加工技術や人工知能・ビッグデータ・IoTなどの幅広い基礎教育を身に付けるとともに、その技術を活用できる人材の育成に寄与するような訓練科目の内容見直しを要望いたします。

更に、入校希望者の増加と、多様かつ実践的なものづくり技術者・技能者の人材を育成するという地域や企業の期待に応えることが出来る技術専門校の認知度向上に取り組んで頂くことを切に要望いたします。

3. 訓練施設や訓練設備の更新などの教育訓練環境の整備について

今後の産業界のニーズに合致した訓練科目が効果的に実施できるよう訓練施設や訓練設備の更新、そして、今後も地元産業界の将来を担っていただく人材の育成につながるための訓練設備導入など、一層の教育訓練環境の整備と充実を要望いたします。

併せて、今後、更に地域との連携を模索する上で、岡谷技術専門校、地元産業界、行政、長野県工業技術総合センター精密・電子・航空技術部門、地元の高等学校、信州大学、諏訪東京理科大学等が忌憚のない情報交換をすることができる場を設営して頂ければ幸いです。